



## TIS株式会社

1971年設立の大手SIer。2011年、TIS株式会社、ソラン株式会社、株式会社ユーフィットの3社が合併して、現在のTIS株式会社となる。エンタープライズ向けに業務アプリ開発、システム構築、運用からITコンサルティング、アウトソーシングまで幅広く手掛け、企業のICTシステムを支えるビジネスパートナーとして各種サービスを提供している。

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿8丁目17番1号  
住友不動産新宿グランドタワー  
<http://www.tis.co.jp/>



IT基盤サービス本部  
IT基盤サービス第1事業部  
プラットフォームサービス推進部  
エキスパート  
市田 真也 氏



IT基盤サービス本部  
IT基盤サービス第1事業部  
プラットフォームサービス推進部  
松井 敬 氏



IT基盤サービス本部  
IT基盤サービス第1事業部  
プラットフォームサービス推進部  
木町 拓矢 氏

## 基幹システムやデータベースサーバ運用のニーズに応えるべく エンタープライズ向けクラウドサービスに高速オプションを新設 そのストレージに、高いパフォーマンスと低コストの バランスに優れたTintri VMstore™シリーズを採用



- 「基幹システムやデータベースサーバ運用をクラウドで」というニーズに応えたい
- 高いパフォーマンスと低コストに優れたストレージを導入したい
- 運用保守を軽減して、固定費であるランニングコストを抑えたい

### 新設するクラウドサービスの高速オプション用ストレージとして SSDとHDDのハイブリッド構成のTintri VMstoreシリーズを採用

TIS株式会社は、日本を代表する大手SIer。利用企業に合わせて業務に沿った最適なシステムやサービスを提供し、フルアウトソーシングで依頼できるSIerとしての評価も高い。近年はクラウド事業にも力を入れている。

同社が、2009年に開始したPaaS/IaaSのサービスとして「TIS Enterprise Ondemand Service」がある。これは、サーバ、ネットワークサービスや運用機能を提供するエンタープライズ向けのクラウドサービスだ。物理サーバとクラウドを連携させて活用できるなど、日本企業の実情に合わせた細かいニーズに対応しているのがTIS Enterprise Ondemand Serviceの特長だ。

2013年9月からは、TIS Enterprise Ondemand Serviceの新オプションとして「ハイスペックストレージ」を開始する。そのストレージとして採用されたのは、ノックスが取り扱うTintri VMstoreシリーズだった。Tintri VMstoreシリーズは、SSDとHDDのハイブリッド構成による低コストで高パフォーマンスを提供するVM-awareストレージだ。



### 基幹システムやデータベース運用に必要なストレージの条件は パフォーマンスと低コスト、安定性

新たにハイスペックストレージというオプションを設けた背景を、IT基盤サービス本部 IT基盤サービス第1事業部 プラットフォームサービス推進部 エキスパート 市田氏は次のように語る。「2009年頃に企業がクラウドに求めていたのは、主に安定性と低コストの2つでした。しかし、最近は基幹システムやデータベースサーバをクラウドで運用したいというニーズが高まってきました。そうなるに従来よりも高い処理速度、ストレージ性能が必要になります。信頼性、低コストに加えて、パフォーマンスが求められるようになりました。」

そこで、高速クラウドに適したストレージを探し始めました。ノックスさんには以前から、『クラウドに適した高速ストレージ』としてTintri VMstoreシリーズを紹介されていましたから、この段階で具体的な計画として導入を検討することになりました」

## 検証作業で明らかになった Tintri VMstoreシリーズのパフォーマンスと 安定性の優秀さ、クラウドへの適性

検証作業を行ったのは、運用マネージャーであるIT基盤サービス本部 IT基盤サービス第1事業部 プラットフォームサービス推進部主査 松井氏と実務担当のIT基盤サービス本部 IT基盤サービス第1事業部 プラットフォームサービス推進部 木町氏だった。両者が口を揃えて高く評価したのはパフォーマンスだった。「検証してみても驚いたのは、Tintri VMstoreシリーズのパフォーマンスの高さです。他にも候補に挙げていたフルSSDのストレージと比較したところ、SSDとHDDのハイブリッドであるTintri VMstoreシリーズよりフルSSDの方が速いと想像していましたが、実際の結果は同程度でした。

しかも、導入コストはTintri VMstoreシリーズの方が遥かに低いわけです。いくらパフォーマンスが良くてもコストが高過ぎては、お客様にお薦めできません。その点、パフォーマンス面もコスト面も優れているTintri VMstoreシリーズは、まさにエンタープライズ向けのクラウドサービスに適したストレージと言えます」(松井氏)

「パフォーマンスの安定性も秀抜でした。従来のストレージは、空き容量が減るにつれパフォーマンスは右肩下がりに落ちていきます。

ところがTintri VMstoreシリーズは、パフォーマンスの劣化点として想定していた使用量を超えてもなかなかパフォーマンスが低下しませんでした。

これまでのTIS Enterprise Ondemand Serviceにおける利用状況を考えれば、Tintri VMstoreシリーズならパフォーマンス低下はほぼ起こらないでしょう」(木町氏)

## 運用面における負担軽減は、 ランニングコスト削減に貢献 そして余力を新規サービス開発へ

運用保守の面でも、Tintri VMstoreシリーズの評価は高かった。「スタッフにとっては、日々の運用に関する機能も気になるところです。管理画面を操作してみて、これはクラウドの運用が楽になるという機能がいくつも含まれていました。まず、トラブル対応では原因の特定が容易です。従来のストレージでは全体の負

荷はかるうじて把握できるものの、原因追求は容易ではありませんでした。ところがTintri VMstoreシリーズは、VM単位でボトルネックが分かるので、どのVMが原因かをすぐに把握できます。また、新規導入や増設のための設定がシンプルで、従来なら1~2週間掛かる作業も、1日で済んでしまいます。

それからVMのクローニングも管理画面から簡単にできるため、すぐにテスト環境を作れます。このようにクラウドサービス向きの様々な機能を持っていました」(木町氏)

これらの運用保守の負担軽減は、スタッフの作業量が減るといふ単純な話ではない。クラウドに掛かるコストの半分は、運用保守のランニングコストが占めていると言われる。通常はサーバやストレージなどの管理対象が増えれば作業負担は増え、ランニングコストもリニアに増えていくからだ。そしてその負担は顧客への利用料金に直結する。しかし、Tintri VMstoreシリーズのように、管理しやすいシステムなら状況は変わる。

「Tintri VMstoreシリーズの採用は、お客様にも当社にもメリットがあります。まずランニングコストを抑えられることで、お客様に安価でサービスを提供できます。そして提供までの期間も短縮されます。当社としても管理対象が増えたからと言って人員を増やさずに済むばかりか、むしろ作業が軽減される分、新サービスの企画・設計に時間を割くことができます」(市田氏)

このように様々な検証を行った上で、2013年3月にTintri VMstoreシリーズを1台導入し、一部の顧客企業に対し先行して運用を始めた。その実績から手応えを感じた同社は、さらに数台増強し、2013年9月から正式なサービスとして提供することを決めた。

サービス開始前から引き合いもあり、既にハイスペックストレージの契約を済ませたユーザー企業もあると言う。また、顧客企業に訪問した際には「基幹システムを稼働させるには〇〇IOPSのパフォーマンスが必要ののだが」「ERPパッケージを稼働させても、問題ないか」などの質問も受けているようだ。

「Tintri VMstoreシリーズは、エンタープライズのお客様が求めていた、基幹システムやデータベースサーバの稼働を十分に支えられる高いパフォーマンスを発揮してくれました。一方で導入コストの低さ、構築や運用に関する負荷軽減、ランニングコストの抑制などの利点は、私たちSlerにとって非常に魅力的です。導入前の検証や先行運用を経て、Tintri VMstoreシリーズの特長を理解できましたから、お客様のニーズを考慮した上でハイスペックストレージをお薦めできます」と市田氏は自信を覗かせた。

発売元

**nox** ノックス株式会社  
[www.nox.co.jp](http://www.nox.co.jp)

本社 〒152-0023 東京都目黒区八雲2-23-13  
 Tel. 03-5731-5551 Fax. 03-5731-5552  
 西日本支社 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビルディング15階  
 Tel. 06-6147-2395 Fax. 06-6147-2396

●本製品に関するお問い合わせ：営業本部  
 ●メールでのお問い合わせ：tintri@nox.co.jp

お問い合わせ先